

第140回京都市中小企業経営動向実態調査

貴社の概要を御記入ください。(該当する箇所には、○印を付けてください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。)

会社名													
経営形態	法人・個人	資本金					万円	電話			—		
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成・令和)						年	従業員数				人(うち非正規)	人
※1 業種	製造業：A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造												
	非製造業：I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店、宿泊・Mサービス・N建設												
	観光関係の売上げ：1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 10%以上25%未満 4 0%超10%未満 5 なし 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。												
主な製品、商品、サービス													
御記入者	部課：			役職：			氏名：						

※1 業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

※2 非正規・・・パート、アルバイト、契約社員、嘱託社員など

(1) 貴社の経営状況についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。

項目	期間	令和3年7月～9月の実績 (前年の同期と比較して)			令和3年10月～12月の予想 (令和3年7月～9月期と比較して)		
		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
貴社の業況		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
生産加工量・販売量		増加	不変	減少	増加	不変	減少
経常利益(税引前)		増加	不変	減少	増加	不変	減少
製品・加工単価、販売単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
仕入単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
製品・商品在庫量		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
雇用人員		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
資金繰り		楽	普通	苦	楽	普通	苦
同業他社との競争		激化	不変	緩和	激化	不変	緩和
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増加	不変	減少	増加	不変	減少
	生産設備	過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
	設備投資	した	していない	する	しない		

(2) 該当するものに○印を付けた理由を御記入ください。

(令和3年7月～9月の実績)

(令和3年10月～12月の予想)

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。(複数回答可)

- 営業力の強化(顧客・市場開拓)
- 生産・経営の合理化
- 人材確保・育成
- 新規産業分野への進出
- 自社ブランドの育成
- 新商品の開発・販売
- 研究開発体制の強化
- 情報収集・分析力の強化
- その他()

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。(複数回答可)

- 競争激化
- 売上不振
- 人材育成
- 値下要請
- 仕入値上要請
- 原材料(特に)価格上昇
- 金利上昇
- 販売価格安
- 技術力不足
- 後継者問題
- 人手不足
- 人件費増加
- 為替動向
- その他()

(5) 新型コロナウイルス感染症による6～8月の売上の減少についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。

- 6月(前年同月比) 1. 50%以上 2. 30%以上50%未満 3. 15%以上30%未満 4. 15%未満 5. 増加
(前々年同月比) 1. 50%以上 2. 30%以上50%未満 3. 15%以上30%未満 4. 15%未満 5. 増加
- 7月(前年同月比) 1. 50%以上 2. 30%以上50%未満 3. 15%以上30%未満 4. 15%未満 5. 増加
(前々年同月比) 1. 50%以上 2. 30%以上50%未満 3. 15%以上30%未満 4. 15%未満 5. 増加
- 8月(前年同月比) 1. 50%以上 2. 30%以上50%未満 3. 15%以上30%未満 4. 15%未満 5. 増加
(前々年同月比) 1. 50%以上 2. 30%以上50%未満 3. 15%以上30%未満 4. 15%未満 5. 増加

【付帯調査】事業承継及び雇用に関する取組について

(6) 事業承継についてお尋ねします。

近年、中小企業経営者の高齢化が進む中、後継者の確保が困難になってきています。円滑な事業承継ができるよう、事前に後継者を選定しておくことが重要であると考えますが、貴社では、後継者を選定していますか。選定していない場合は、その理由として該当する箇所に○印を付けてください。

ア 後継者を選定している イ 後継者を選定していない <選定していない理由> ① 適当な後継者が見つからない ② 後継者候補がいるが、本人が承諾しない ③ 複数の後継者がおり絞り込めない ④ 後継者を決定したいが相談先が分からない ⑤ 後継者候補がいるが、まだ若い ⑥ 後継者を決定する必要がない(廃業予定など事業継続の意思がない。) ⑦ その他()

(7) 新型コロナウイルス感染症による雇用への影響についてお尋ねします。

A. 新型コロナウイルス感染症の影響により、雇用調整の必要が生じていますか。(該当するものに一つだけ○印)

1. 既に必要となっている	2. 今後必要となる可能性がある	3. 必要はない	4. わからない
---------------	------------------	----------	----------

→ B 及び C を回答
→ C を回答

B. 雇用調整のためにどのような取組を実施(予定含む)されていますか。

雇用調整の取組項目	実施している 1～8の中から該当するものに全て○	今後実施する予定 1～8の中から該当するものに全て○	現在検討中 1～8の中から該当するものに全て○
新卒採用、中途採用の縮小、停止	1	1	1
従業員の一時帰休	2	2	2
非正規従業員の削減	3	3	3
従業員の配置転換・出向	4	4	4
役員・従業員の報酬の減額、給与引き下げ	5	5	5
希望退職者の募集	6	6	6
従業員の整理解雇	7	7	7
その他(具体的に)	8	8	8

C. 新型コロナウイルス感染症の拡大後、現在までの間に、下記のような取組を実施されましたか。これまでに「実施した取組」と「今後も継続する取組」をお答えください。

新型コロナウイルス感染症に対する取組項目	実施した取組 1～10の中から該当するものに全て○	当面継続する取組 1～9の中から該当するものに全て○
テレワーク・在宅勤務の導入	1	1
時差出勤、公共交通機関を利用しない通勤の推進	2	2
サテライトオフィス・シェアオフィスの利用	3	3
社内業務のデジタル化の推進(ウェブ会議、オンライン書面決裁・各種手続等)	4	4
業務効率化(押印省略・権限移譲等)	5	5
従業員間のコミュニケーション機会の創出(オンライン懇親会等)	6	6
従業員への特別手当の支給	7	7
従業員へのマスク・消毒液配布	8	8
その他(具体的に)	9	9
特に実施した取組はない	10	

お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

当調査票は、同封の返信用封筒、もしくは業務委託先の(株)東京商工リサーチ京都支店(FAX:211-4788)にご返送願います。

なお、内容についてのお問い合わせは、京都市役所 産業観光局(TEL:222-3371)まで、お願いいたします。